

確証バイアス

岡山県立倉敷工業高等学校 資格検定指導室 資格検定NEWS



ヒトは自分の見たいものしか見（え）ない（下條信輔）『潜在認知の次元』

人は、自分の信ずることを裏づける情報や合図を追い求め、関心を向けます。信念の支えにならない情報は求めず、それどころか無視したり、軽んじたりします。（スーザン・ワインチェック）『心理的に正しいプレゼンテーション』

他人の意見や忠告に素直に耳を傾けるのは難しい。

人は誰でも、自分と同じ考えに同調はするが、異なった視点に立って考えろと言われても、それは容易ではない。

下條信輔の言葉を鷲田清一は「人の判断には自分でも気づかない枠組みがあり、フィルターがかかっている。まなざしに期待のバイアスがかかり、他人の動きにもつい惑わされる。厄介なのは、辻褄（つじつま）を合わせようとしてますます自身の判断に固執し、引き返せなくなること。」と解釈している。

スーザン・ワインチェックは自身の著作で確証バイアスを如何に理解して、聴衆の関心を引く方法を模索している。

自分に都合の良い情報ばかりを追い求める結果、選択の幅を狭めてしまうのが人間だと、多少なりとも意識しておけば、新しい立ち位置に到れるかもしれない。